

平成 23 年度西部クリーンセンター放射性物質濃度等測定結果

●焼却灰等放射性物質濃度（単位：焼却灰等 Bq/kg ・排ガス Bq/m^3 ）

第 1 回

採取日	検 体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 23 年 7 月 19 日	飛灰 ^{※1} ^{※4}	不検出	910	1,100	2,010
平成 23 年 7 月 25 日	焼却残渣 ^{※2}	不検出	92	130	222
	炉砂 ^{※3}	不検出	430	470	900

第 2 回

採取日	検 体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 23 年 10 月 20 日	飛灰 ^{※1}	不検出	430	530	960
	焼却残渣 ^{※2}	不検出	51	63	114
	炉砂 ^{※3}	不検出	240	290	530

第 3 回

採取日	検 体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 23 年 12 月 19 日	飛灰 ^{※1}	不検出	240	320	560
	焼却残渣 ^{※2}	不検出	25	40	65
	炉砂 ^{※3}	不検出	160	200	360

第 4 回

採取日	検 体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 24 年 1 月 20 日	飛灰 ^{※1} ^{※4}	300	410	710
	焼却残渣 ^{※2}	35	41	76
	炉砂 ^{※3}	140	180	320
平成 24 年 1 月 24 日	排ガス（A系炉）	不検出	不検出	不検出

第 5 回

採取日	検 体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 24 年 2 月 29 日	飛灰 ^{※1} ^{※4}	280	380	660
	焼却残渣 ^{※2}	32	42	74
	炉砂 ^{※3}	110	160	270
	排ガス（A系炉）	不検出	不検出	不検出
平成 24 年 2 月 7 日	排ガス（B系炉）	不検出	不検出	不検出

第 6 回

採取日	検 体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 24 年 3 月 21 日	飛灰 ^{※1} ^{※4}	230	350	580
	焼却残渣 ^{※2}	32	45	77
	炉砂 ^{※3}	99	140	239
平成 24 年 3 月 16 日	排ガス（A系炉）	不検出	不検出	不検出
	排ガス（B系炉）	不検出	不検出	不検出

※1 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※2 焼却残渣とは、燃やしたごみに含まれる未燃分（主に小石や金属類）をいう。

※3 炉砂とは、流動床式焼却炉においてごみを燃やすために用いる砂のことをいう。

※4 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。

●敷地境界空間放射線量 (μ S v /時) ^{マイクロシーベルト}

第1回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成23年7月19日	0.10	0.06	0.09	0.07	—

第2回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成24年1月11日	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08
平成24年1月18日	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08
平成24年1月25日	0.09	0.10	0.08	0.08	0.08

第3回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成24年2月2日	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08
平成24年2月8日	0.10	0.09	0.08	0.09	0.08
平成24年2月14日	0.09	0.09	0.08	0.09	0.08
平成24年2月22日	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08
平成24年2月29日	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08

第4回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成24年3月7日	0.09	0.10	0.08	0.09	0.09
平成24年3月14日	0.09	0.10	0.08	0.08	0.09
平成24年3月21日	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08
平成24年3月28日	0.09	0.09	0.08	0.09	0.08

※第1回は委託業者、第2回以降はクリーンセンター職員が測定を実施。

※第2回以降は1週間に1回の頻度で測定を実施。

※地表面から1mの高さで測定。